

中小企業景況調査報告書

平成27年度第3・四半期（10～12月）

真清田神社



Masumida Shrine

目 次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 100社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 48社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方 法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 100事業所。

- V. 調査対象企業 次の表のとおり
の業種

(1) 景況調査対象事業所(100)の内訳

業 種	事業所数
建 設 業	7
製 造 業	61
(繊維製造業)	(48)
(その他製造業)	(13)
卸 売 業	13
小 売 業	10
サービス業	9
合 計	100

(2) 繊維製造業対象事業所(48)の内訳

業 種	事業所数
撚 糸 業	6
織物製造業	22
染色整理加工業	8
縫製加工業	3
そ の 他	9
合 計	48

- VI. 分 析 方 法
1. D I (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. D I 分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

- VII. 分 析 項 目
1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前 期 比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り

- VIII. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

1位3ポイント
2位2ポイント
3位1ポイント

今 期 の 概 況

景況は、一時的にやや後退した

1. 前年同期比 DI 値の分析

今期(表 1、3 参照)は、資金繰り DI 値で、前期実績と同様、横ばい、業況、売上、採算、従業員の DI 値で、前期実績を下回った。

来期は、業況、資金繰り、従業員の DI 値で、今期実績を上回り、売上、採算の DI 値で、今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

- 業況 DI 値は、前期実績▲10.0 から▲12.0 (2.0 ポイント減) となり、来期は▲10.0 (2.0 ポイント増) となる見通し。
- 売上 DI 値は、前期実績▲5.0 から▲10.0 (5.0 ポイント減) となり、来期は▲11.0 (1.0 ポイント減) となる見通し。
- 採算 DI 値は、前期実績▲5.0 から▲16.0 (11.0 ポイント減) となり、来期は▲20.0 (4.0 ポイント減) となる見通し。
- 資金繰り DI 値は、前期実績▲12.0 と同様、横ばいとなり、来期は▲9.0 (3.0 ポイント増) となる見通し。
- 従業員 DI 値は、前期実績 3.0 から 2.0 (1.0 ポイント減) となり、来期は 3.0 (1.0 ポイント増) となる見通し。

繊維製造業の状況

- 今期(表 2、5 参照)は、資金繰り DI 値で、前期実績を上回り、業況、売上、採算、従業員 DI 値で、前期実績を下回った。
- 来期は、業況、資金繰り DI 値で、前期実績を上回り、売上 DI 値は横ばい、採算、従業員 DI 値で、前期実績を下回った。

2. 前期比 DI 値の分析

今期(表 7、8 参照)は、業況、売上、資金繰りすべての DI 値で、前期実績を下回った。

指標別の状況

- 業況 DI 値は、前期実績▲8.0 から▲5.0 (3.0 ポイント増) となった。
- 売上 DI 値は、前期実績 2.0 と同様、横ばいとなった。
- 資金繰り DI 値は、前期実績▲6.0 から▲8.0 (2.0 ポイント減) となった。

繊維製造業の状況

- 今期(表 9、10 参照)は、業況 DI 値は横ばい、売上、資金繰り DI 値で、前期実績を下回った。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(43 件、26 事業所)に比べ件数、事業所とも減少している。

- ① 今期の実績(表 4、6 参照)は 34 件(23 事業所)。その主な内訳は、『生産設備』12 件、『O A 機器』8 件、『工場建物』5 件、『車両・運搬具』5 件となっている。
- ② 来期の計画(表 4、6 参照)は 41 件(27 事業所)。その主な内訳(予定)は、『車両・運搬具』11 件、『生産設備』10 件、『工場建物』8 件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表 11 参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『製品等単価の低下・上昇難』、『従業員・熟練技術者の確保難』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A 社（建設業）

中堅ゼネコンは、来年も受注予定があり、多忙であると聞いているが、中小ゼネコンは、来年3月以降の受注に関しては、厳しくなると予想している。なお、物価上昇による工事経費の増加分については、お客様に理解できるように努力するしかない。

B 社（製造業〈燃糸〉）

原材料や資材の価格が上昇している。最低賃金も引き上げられ売上に転嫁するのは厳しい状況である。秋冬物8割、春夏物2割の生産で、9月～2月までは受注減少する。

C 社（製造業〈織物〉）

自社ブランドの取扱いが増えたことに加え、中価格帯の衣料の売上が好調である。特に、11月に入り、ウールコートの売上が好調である。

D 社（製造業〈織物〉）

国内回帰の影響もあり、主力取引先から「ジェイ・クオリティ」の認証を取得するように指導があり、取得した。海外、特に中国の富裕層向けのメイドインジャパン製品を主力取引先が販売する動きがみられる。

E 社（製造業〈食品〉）

会社全体の売上は、対前年比15%増で推移。6月以降受注順調で、年末まで繁忙期で生産が追い付かない状況である。人材確保のため、職安に求人を出しているが、なかなか応募がない。

F 社（卸売業）

業界は全般的には低調で、近々、大きく回復する見込みは薄い。しかし、当地は、物流の拠点であり、潜在ニーズはあり、期待できる面もあるが、大手流通業者が乗り出してこないか不安である。

G 社（卸売業）

昨年の消費税増税から続く需要縮小傾向に歯止めがかからない状況である。来年に向けて多少、期待はしたいが、見通しは非常に厳しいと思われる。

H 社（サービス業）

慢性的な人材不足により人件費が高騰しているが、年末・年度末の繁忙期を迎え、人材確保が急務となっている。

I 社（サービス業）

業界は、需要の停滞が激しく廃業を考える業者が目立っている。売り手は様子見、買い手は買い控えで、物件が出ず、買い手も動いていない。

景況の推移（全業種100事業所）

表 1

～ 前年同期比 ～

	H26. 10～12月	H27. 1～3月	H27. 4～6月	H27. 7～9月	今 期 H27. 10～12月	来期の見通し H28. 1～3月
業 況	▲25.0	▲27.0	7.0	▲10.0	▲12.0	▲10.0
売 上	▲12.0	▲28.0	9.0	▲ 5.0	▲10.0	▲11.0
採 算	▲30.0	▲30.0	2.0	▲ 5.0	▲16.0	▲20.0
資金繰り	▲14.0	▲19.0	1.0	▲12.0	▲12.0	▲ 9.0
従 業 員	▲ 6.0	▲ 6.0	0.0	3.0	2.0	3.0

景況の推移（繊維製造業48事業所）

表 2

～ 前年同期比 ～

	H26. 10～12月	H27. 1～3月	H27. 4～6月	H27. 7～9月	今 期 H27. 10～12月	来期の見通し H28. 1～3月
業 況	▲22.4	▲20.4	20.4	▲12.5	▲14.6	▲12.5
売 上	▲ 8.2	▲18.4	28.6	▲10.4	▲18.8	▲18.8
採 算	▲30.6	▲24.5	14.3	▲ 4.2	▲12.5	▲20.8
資金繰り	▲16.3	▲14.3	0.0	▲14.6	▲12.5	▲ 6.3
従 業 員	▲ 4.1	▲ 6.1	▲ 6.1	14.6	8.3	0.0

業 種 別 集 計 表 (全業種100事業所) ～ 前 年 同 期 比 ～

表 3

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	2 (2)	7 (8)	1 (0)	1 (1)	3 (3)	14 (14)	▲ 12.0
	不変	5 (4)	38 (38)	8 (10)	5 (5)	4 (5)	60 (62)	
	悪化	0 (1)	16 (15)	4 (3)	4 (4)	2 (1)	26 (24)	(▲10.0)
売上	増加	1 (2)	9 (8)	3 (1)	3 (3)	5 (2)	21 (16)	▲ 10.0
	不変	6 (5)	30 (35)	6 (9)	4 (4)	2 (4)	48 (57)	
	減少	0 (0)	22 (18)	4 (3)	3 (3)	2 (3)	31 (27)	(▲11.0)
採算	好転	2 (1)	8 (7)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	12 (10)	▲ 16.0
	不変	4 (5)	37 (36)	8 (9)	6 (6)	5 (4)	60 (60)	
	悪化	1 (1)	16 (18)	4 (3)	4 (4)	3 (4)	28 (30)	(▲20.0)
資金繰り	好転	1 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	7 (5)	▲ 12.0
	不変	6 (7)	48 (51)	9 (11)	6 (6)	5 (6)	74 (81)	
	悪化	0 (0)	10 (7)	4 (2)	4 (4)	1 (1)	19 (14)	(▲9.0)
従業員	増加	1 (0)	11 (8)	1 (1)	0 (1)	2 (1)	15 (11)	2.0
	不変	4 (7)	41 (46)	11 (12)	10 (9)	6 (7)	72 (81)	
	減少	2 (0)	9 (7)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	13 (8)	(3.0)

※ 採算は経常利益で判断

※ () 内は来期

新規設備投資集計表 (全業種100事業所)

表 4

設備投資	今 期	実施した ※1	23	来 期	計画している ※2	27
	(事業所数)	実施していない	77	(事業所数)	計画していない	73

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土地	0 件	5 件	5. 付帯施設	3 件	2 件
2. 工場建物	5 件	8 件	6. O A 機器	8 件	5 件
3. 生産設備	12 件	10 件	7. 福利厚生施設	1 件	0 件
4. 車両・運搬具	5 件	11 件	8. その他	0 件	0 件
複数回答可			合 計	34 件	41 件

業 種 別 集 計 表 (繊維製造業48事業所)

～ 前 年 同 期 比 ～

表 5

	事業所数	6	22	8	3	9	48	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	1 (1)	2 (4)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	5 (7)	▲ 14.6 (▲12.5)
	不 変	3 (3)	13 (11)	6 (5)	3 (3)	6 (6)	31 (28)	
	悪 化	2 (2)	7 (7)	2 (3)	0 (0)	1 (1)	12 (13)	
売 上	増 加	1 (1)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	7 (6)	▲ 18.8 (▲18.8)
	不 変	4 (4)	7 (8)	5 (6)	3 (3)	6 (6)	25 (27)	
	減 少	1 (1)	11 (10)	3 (2)	0 (0)	1 (2)	16 (15)	
採 算	好 転	1 (1)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	6 (6)	▲ 12.5 (▲20.8)
	不 変	1 (2)	15 (13)	6 (5)	3 (2)	5 (4)	30 (26)	
	悪 化	4 (3)	5 (7)	2 (3)	0 (1)	1 (2)	12 (16)	
資 金 繰 り	好 転	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (3)	▲ 12.5 (▲6.3)
	不 変	4 (4)	18 (18)	6 (7)	3 (3)	7 (7)	38 (39)	
	悪 化	1 (1)	4 (3)	2 (1)	0 (0)	1 (1)	8 (6)	
従 業 員	増 加	2 (0)	4 (4)	0 (0)	1 (0)	2 (2)	9 (6)	8.3 (0.0)
	不 変	3 (4)	15 (15)	7 (7)	2 (3)	7 (7)	34 (36)	
	減 少	1 (2)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	5 (6)	

※ 採算は経常利益で判断

新規設備投資集計表 (繊維製造業48事業所)

表 6

設 備 投 資	今 期	実施した ※1	12	来 期	計画している ※2	11
	(事業所数)	実施していない	36	(事業所数)	計画していない	37

	※ 1	※ 2		※ 1	※ 2
1. 土 地	0 件	2 件	5. 付 帯 施 設	0 件	0 件
2. 工 場 建 物	3 件	3 件	6. O A 機 器	4 件	1 件
3. 生 産 設 備	8 件	6 件	7. 福 利 厚 生 施 設	0 件	0 件
4. 車 両 ・ 運 搬 具	1 件	2 件	8. そ の 他	0 件	0 件
複数回答可			合 計	16 件	14 件

景 況 の 推 移 (全業種100事業所)

表 7

～ 前 期 比 ～

	H26.10～12月	H27.1～3月	H27.4～6月	H27.7～9月	今 期 H27.10～12月
業 況	▲ 18.0	▲ 28.0	5.0	▲ 8.0	▲ 5.0
売 上	▲ 16.0	▲ 31.0	19.0	2.0	2.0
資金繰り	▲ 15.0	▲ 15.0	5.0	▲ 6.0	▲ 8.0

業 種 別 集 計 表 (全業種100事業所)

表 8

～ 前 期 比 ～

	事業所数	7	61	13	10	9	100	D I
		建 設 業	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービス業	合 計	
業 況	好 転	1	9	1	0	3	14	▲ 5.0
	不 変	6	38	10	8	5	67	
	悪 化	0	14	2	2	1	19	
売 上	増 加	3	13	4	3	3	26	2.0
	不 変	4	28	8	5	5	50	
	減 少	0	20	1	2	1	24	
資 金 繰 り	好 転	1	4	0	0	2	7	▲ 8.0
	不 変	5	48	12	7	6	78	
	悪 化	1	9	1	3	1	15	

景 況 の 推 移 (繊維製造業48事業所)

表 9

～ 前 期 比 ～

	H26.10～12月	H27.1～3月	H27.4～6月	H27.7～9月	今 期 H27.10～12月
業 況	▲28.6	▲26.5	12.2	▲14.6	▲14.6
売 上	▲28.6	▲30.6	30.6	▲ 4.2	▲18.8
資金繰り	▲18.4	▲ 8.2	2.0	▲ 6.3	▲10.4

業 種 別 集 計 表 (繊維製造業48事業所)

表 10

～ 前 期 比 ～

	事業所数	6	22	8	3	9	48	D I
		撚糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	そ の 他	合 計	
業 況	好 転	2	2	0	0	1	5	▲ 14.6
	不 変	2	14	6	3	6	31	
	悪 化	2	6	2	0	2	12	
売 上	増 加	2	4	0	0	2	8	▲ 18.8
	不 変	3	7	5	3	5	23	
	減 少	1	11	3	0	2	17	
資 金 繰 り	好 転	1	0	0	0	1	2	▲ 10.4
	不 変	4	19	6	3	7	39	
	悪 化	1	3	2	0	1	7	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○従業員の確保難	○請負単価の低下・ 上昇難 ○官公需要の停滞 ○民間需要の停滞	○熟練技術者の確保 難
繊維製造業	○需要の停滞	○原材料価格の上昇	○製品(加工)単価の 低下・上昇難
製造業 (繊維製造業は除く)	○製品(加工)単価の 低下・上昇難	○生産設備の不足・ 老朽化	○従業員の確保難
卸売業	○需要の停滞	○仕入単価の上昇	○商品在庫の過剰 ○販売単価の低下・ 上昇難
小売業	○大型店・中型店の 進出による競争の 激化	○店舗の狭隘・老朽 化 ○需要の停滞	○購買力の他地域 への流出
サービス業	○人件費の増加 ○従業員の確保難	○材料等仕入単価の 上昇	○新規参入業者の増 加 ○需要の停滞

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	2
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	1
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	6
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	13
熟練技術者の確保難	4
下請業者の確保難	3
官公需要の停滞	6
民間需要の停滞	6
その他	0
合 計	42

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	6
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	26
生産設備の不足・老朽化	29
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	40
原材料の不足	0
人件費の増加	12
原材料費・人件費以外の経費の増加	5
製品(加工)単価の低下・上昇難	38
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	6
事業資金の借入難	5
従業員の確保難	12
熟練技術者の確保難	18
需要の停滞	52
その他 (輸入品の増大)	3
合 計	252

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

『直面している経営上の問題点』の集計表

製 造 業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
製品ニーズの変化への対応	8
生産設備の不足・老朽化	11
生産設備の過剰	2
原材料価格の上昇	4
原材料の不足	1
人件費の増加	7
原材料費・人件費以外の経費の増加	3
製品(加工)単価の低下・上昇難	13
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	10
熟練技術者の確保難	6
需要の停滞	4
その他	0
合 計	71

卸 売 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	1
メーカーの進出による競争の激化	3
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	3
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	1
商品在庫の過剰	5
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	0
販売単価の低下・上昇難	5
仕入単価の上昇	8
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	3
従業員の確保難	3
需要の停滞	22
その他 (ネット販売との価格競争の激化)	2
合 計	59

※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

『直面している経営上の問題点』の集計表

小 売 業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	15
同業者の進出	0
購買力の他地域への流出	4
消費者ニーズの変化への対応	3
店舗の狭隘・老朽化	9
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	2
人件費以外の経費の増加	1
販売単価の低下・上昇難	0
仕入単価の上昇	2
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	0
需要の停滞	9
その他 (インターネット販売)	3
合 計	49

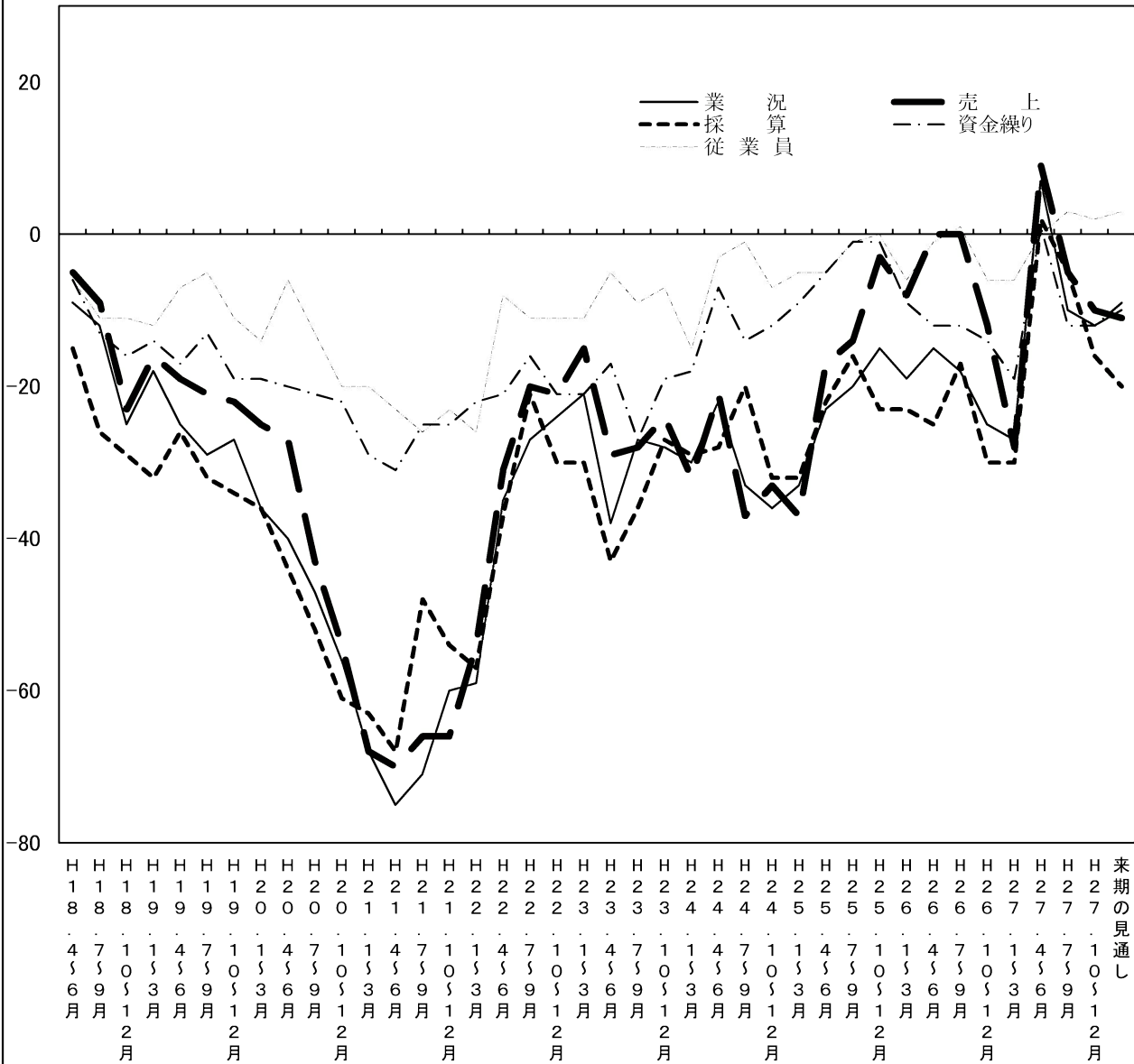
サ ー ビ ス 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	2
新規参入業者の増加	3
利用者ニーズの変化への対応	2
店舗施設の狭隘・老朽化	2
人件費の増加	13
人件費以外の経費の増加	0
利用料金の低下・上昇難	2
材料等仕入単価の上昇	5
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	1
従業員の確保難	13
熟練技術者の確保難	2
需要の停滞	3
その他	0
合 計	48

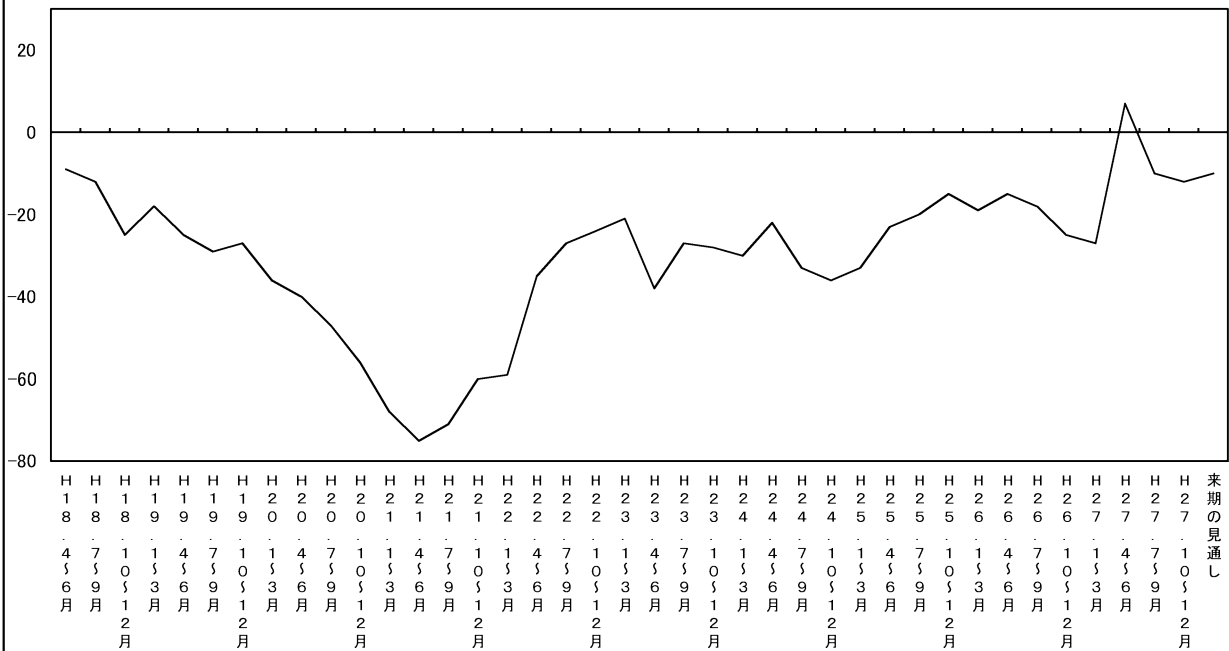
※ 1 位 … … 3 ポ イ ン ト
 2 位 … … 2 ポ イ ン ト
 3 位 … … 1 ポ イ ン ト

图 1

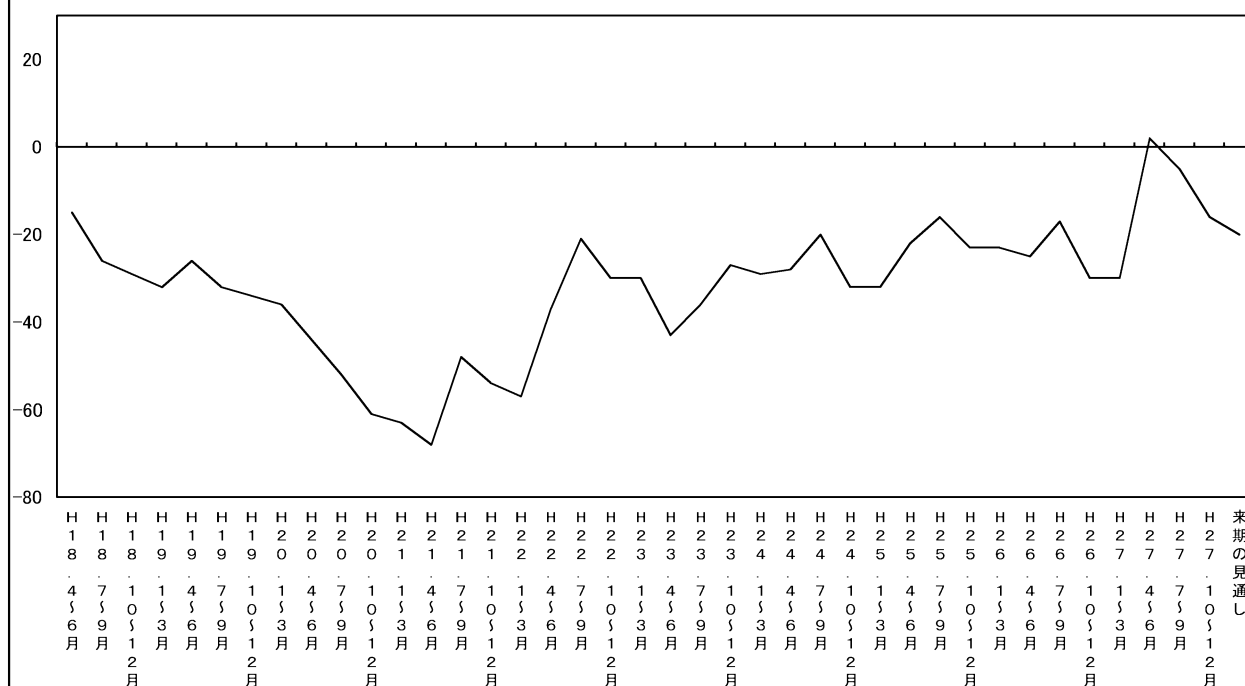
景況 DI (全業種)－前年同期比－



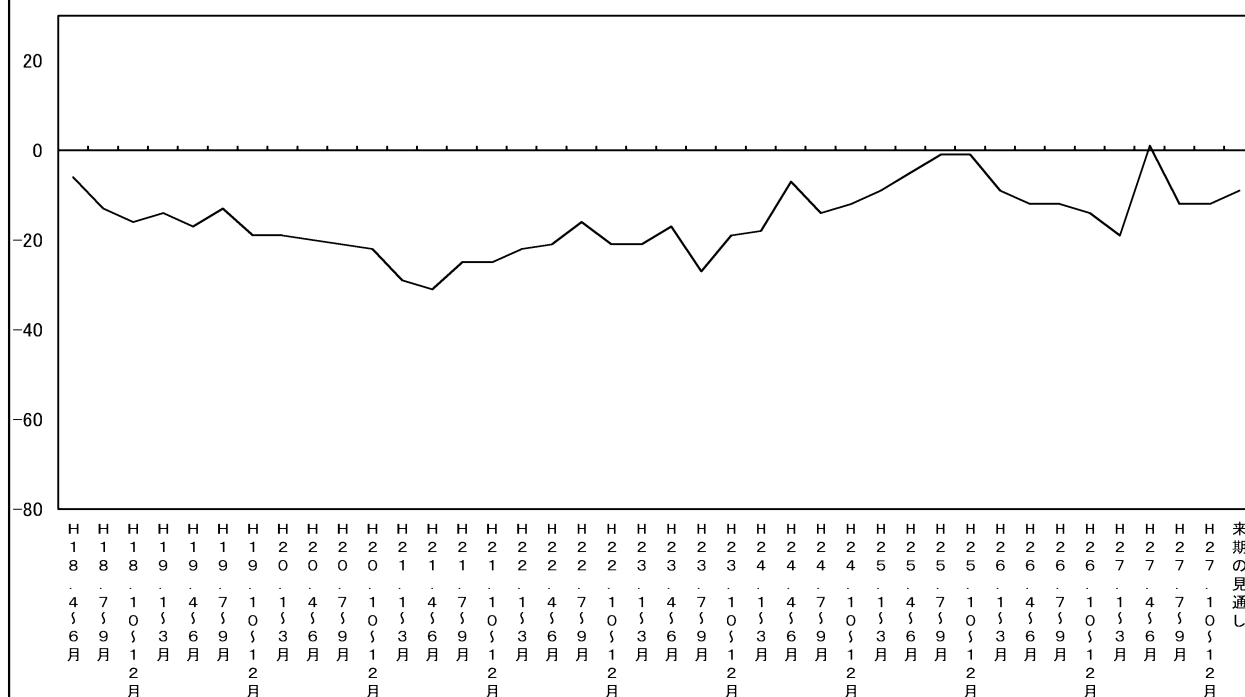
業 況 DI ー前年同期比ー



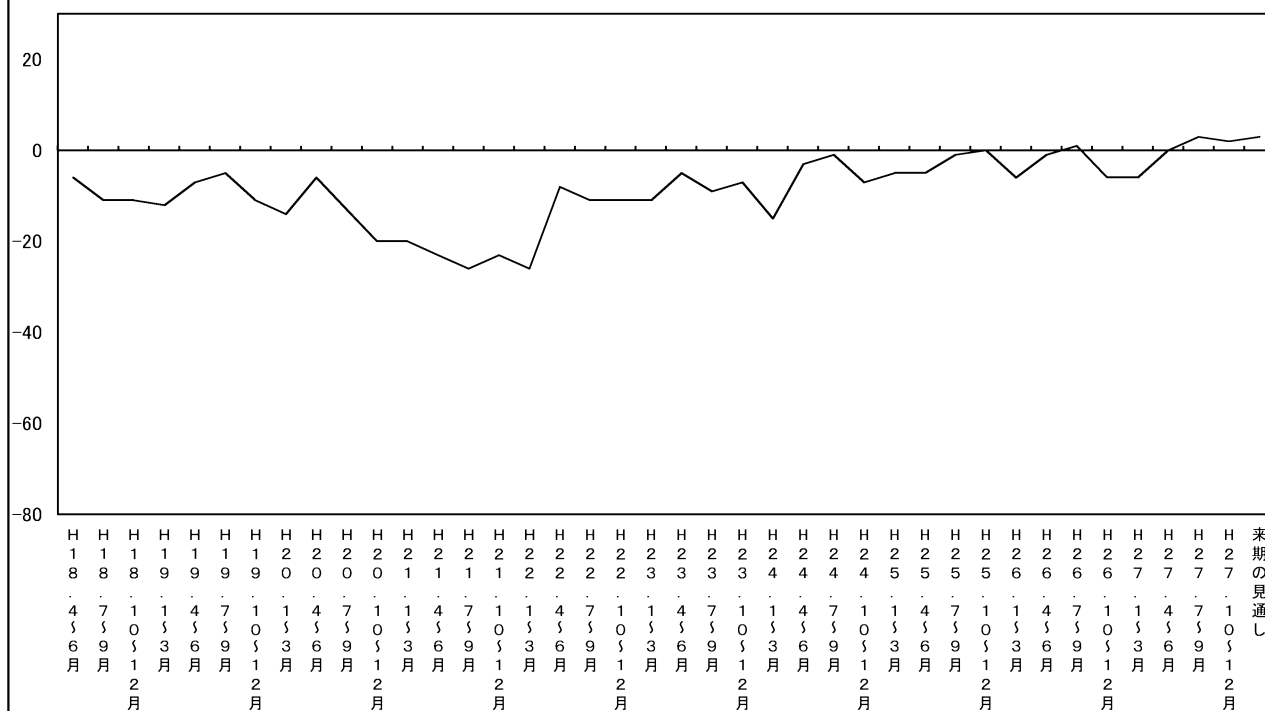
採 算 DI 一前年同期比一



資金繰り DI 一前年同期比一



従業員 DI 一前年同期比一





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号(〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp